



建築物総合環境計画概要書 新築

■使用評価マニュアル:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2.1) ■使用評価ソフト:「CASBEE大阪みらい 新築」2018年版 (v.1.2)

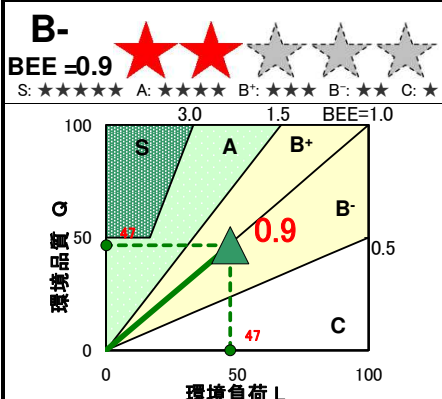
1-1 建物概要

建物名称	生野異南物販店舗建設工事		
建設地	生野区異南5丁目		
建築用途	物品販売業を営む店舗、診療所(患者の収容施設のないもの)		
建築主			
設計者			
敷地面積	5,701.76	m ²	
建築面積	2,361.93	m ²	
延床面積	4,174.94	m ²	
構造/階数	S造	/	地上2階
完了年(予定)	2023年5月		

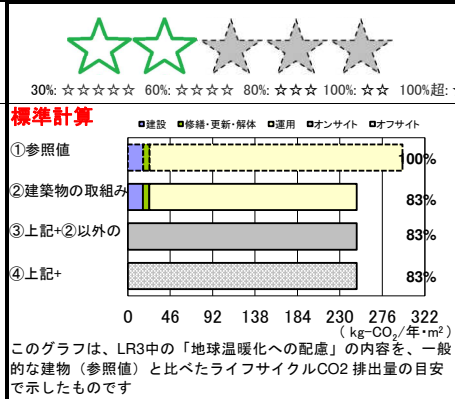
1-2 外観



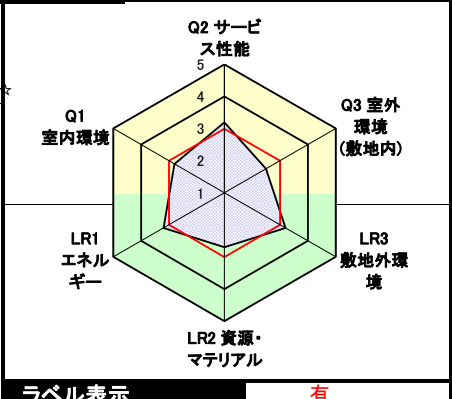
2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)



2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)



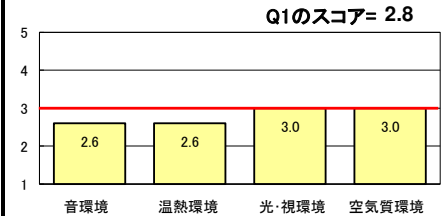
2-3 大項目の評価(レーダーチャート)



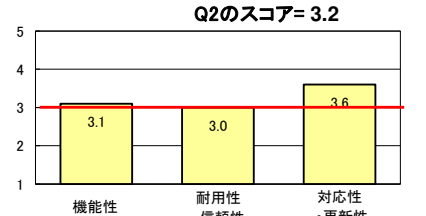
2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

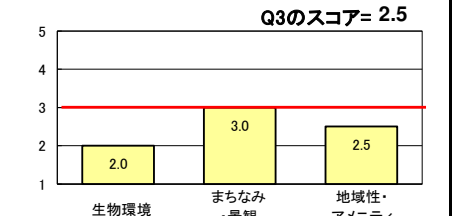
Q1 室内環境



Q2 サービス性能

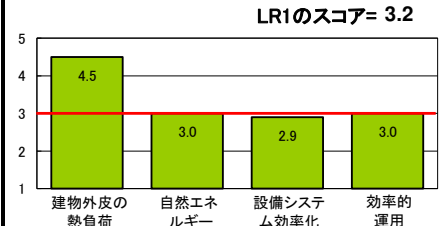


Q3 室外環境(敷地内)

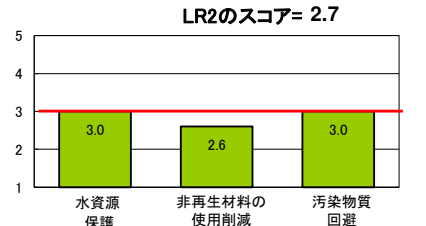


LR 環境負荷低減性

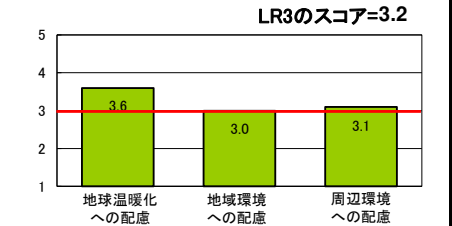
LR1 エネルギー



LR2 資源・マテリアル



LR3 敷地外環境



3 設計上の配慮事項

総合

建物については一次エネルギー消費量BEIが低くなるように省エネ性能に配慮すると共に将来の更新性に配慮したゆとりある計画とした。また、敷地内には緑地を設け、周辺環境に配慮した。

その他

特になし。

Q1 室内環境

使用材料は基本F☆☆☆☆を採用している。また共用部分のエントランス・廊下には適切な開口部面積を確保し、自然光の取り入れに配慮している。

Q2 サービス性能

階高=4.5m、壁長さ比率=0.1未満とする事で空間のゆとりを確保する共に将来への更新性に配慮した。

Q3 室外環境(敷地内)

敷地周囲に緑地を配置した。また、北側の道路面には低木と中木を設け、周辺環境に配慮した。

LR1 エネルギー

省エネ性能を考慮し、空調設備や照明設備の省エネ性能に配慮した。また、外壁はALCを採用し、断熱性能を高めるように計画した。

LR2 資源・マテリアル

内装の下地にはLGSを採用し、部材の再利用に配慮した。

LR3 敷地外環境

駐車場、駐輪場を十分に確保すると共に搬入車との動線を分け、利便性に配慮した。

建築物環境性能表示 結果〔重点評価〕

総合評価BEE = 0.9

ラベル表示



環境性能	評価点
(1)CO ₂ 削減	4.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR3/ 1 / / 地球温暖化への配慮	3.6
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(2)みどり・ヒートアイランド対策	2.0
みどり・ヒートアイランド対策に配慮した環境性能	概要記入欄
Q3 / 1 / / 生物環境の保全と創出	2.0
Q3 / 3 /3.2/ 敷地内温熱環境の向上	2.0
LR3/ 2 /2.2/ 温熱環境悪化の改善	3.0
配慮事項	特になし

環境性能	評価点
(3)建物の断熱性	5.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 1 / / 建物の熱負荷抑制	4.5 BPI _m =0.85
配慮事項	外壁はALCを採用し、断熱性能を高めるように計画した。

環境性能	評価点
(4)エネルギー削減	3.0
CO ₂ 削減に配慮した環境性能	概要記入欄
LR1/ 3 / / 設備システムの高効率化	2.9 BEI _m =0.82
配慮事項	空気調和設備や照明設備の省エネ性能に配慮した。

省エネルギー基準計算結果

基準
適合状況

適合

※ 外皮性能については、住宅部分が等級4（相当）以上、非住宅部分が1.0以下であること
 ※ 一次エネルギー消費量については、建物全体のBEI、BEI_mが1.0以下であること（新築時）
 （基準適合義務がある部分については、その部分のBEI、BEI_mが1.0以下であること）

外皮性能	住宅部分（品確法等級） - (相当)	非住宅部分[BPI][BPI _m] 0.85
一次エネルギー消費量	建物全体[BEI][BEI _m] 0.82	住宅部分[BEI] - 非住宅部分[BEI][BEI _m] 0.82